



荻川小だより

〒956-0011 新潟市秋葉区車場 922-1

電話：0250-25-2171 FAX：0250-25-2172

<http://www.ogikawa.city-niigata.ed.jp/>

令和6年12月19日発行 No.6

たくさん書くこと

校長 平田 伸一



入学式や卒業式では、学校玄関に雄渾な筆づかいの立て看板が必ずあり、その看板を背にしてハレの姿をカメラに収めたことでしょう。

毛筆で字を書くとき、人は手本を見てその形を認識し、自身の腕や手や指先の感覚をフル稼働させています。インプットとアウトプットが同時の、創造性の高い所作です。しかし、パソコンが普及すると毛筆で字を書く機会は少なくなりました。

ワープロが世に出回り始めた頃も、大学の授業レポートは手書きが主流。書き終わると鉛筆の持ち手は黒くなります。達筆な親友と出会いました。「文字を見るとその人となりが見える」。今もこの言葉が忘れられません。

教員生活4年目、山間の小学校に勤めました。当時の校長先生は常に手帳を携えていて、とりとめのない内容のメモでも取っておきたいほど流麗な文字を書かれています。どうしてそんなに美しいのか。

「たくさん書くことだよ」。これが答えです。校長先生が転勤される時、長年使っておられたチョーク箱を譲っていただきました。今も直筆の手紙のやりとりを続けています。

書写・書道の授業は日本の文化に親しむことであり、上手下手を問うものではありません。五感を通して「書」に慣れ親しみ、文字を身に付けていくことが学校教育の役割です。

冬休みの宿題の一つが書き初めです。1年生と2年生は鉛筆で書きます。3年生以上は毛筆そして細く長い紙にたっぷりの墨で書き上げます。ゆっくりと丁寧に練習しましょう。たくさん書くことだよ。

健やかに新しい年を迎えてください。